

【日の出入り・月の出入り表】

2025年 9月

提供:国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備 考
	時:分	時:分:秒	度	時:分	時:分	時:分		
1	5:55	12:21:12	65	18:47	14:16	23:46	8.9	
2	5:56	12:20:53	64.7	18:45	15:10	--:--	9.9	
3	5:57	12:20:33	64.3	18:44	16:00	0:41	10.9	
4	5:57	12:20:13	63.9	18:43	16:43	1:43	11.9	
5	5:58	12:19:53	63.6	18:41	17:22	2:48	12.9	
6	5:59	12:19:33	63.2	18:40	17:56	3:55	13.9	天王星が留※1
7	5:59	12:19:12	62.8	18:39	18:27	5:02	14.9	白露※3
8	6:00	12:18:52	62.4	18:37	18:56	6:10	15.9	皆既月食、満月
9	6:01	12:18:31	62.1	18:36	19:26	7:18	16.9	
10	6:01	12:18:10	61.7	18:35	19:57	8:27	17.9	
11	6:02	12:17:49	61.3	18:33	20:32	9:38	18.9	
12	6:02	12:17:27	60.9	18:32	21:13	10:51	19.9	
13	6:03	12:17:06	60.6	18:31	22:01	12:04	20.9	水星が外合※2
14	6:04	12:16:45	60.2	18:29	22:57	13:14	21.9	下弦
15	6:04	12:16:23	59.8	18:28	24:00:00	14:17	22.9	敬老の日
16	6:05	12:16:02	59.4	18:26	--:--	15:11	23.9	
17	6:06	12:15:41	59	18:25	1:07	15:56	24.9	
18	6:06	12:15:19	58.6	18:24	2:14	16:34	25.9	
19	6:07	12:14:58	58.2	18:22	3:19	17:05	26.9	
20	6:08	12:14:37	57.9	18:21	4:21	17:33	27.9	彼岸の入り
21	6:08	12:14:15	57.5	18:20	5:21	17:58	28.9	土星が衝※2
22	6:09	12:13:54	57.1	18:18	6:19	18:23	0.3	部分日食、新月
23	6:10	12:13:33	56.7	18:17	7:16	18:48	1.3	秋分※5、秋分の日、海王星が衝※2
24	6:10	12:13:12	56.3	18:16	8:13	19:14	2.3	
25	6:11	12:12:51	55.9	18:14	9:10	19:43	3.3	
26	6:12	12:12:31	55.5	18:13	10:09	20:16	4.3	
27	6:12	12:12:10	55.1	18:11	11:07	20:54	5.3	
28	6:13	12:11:50	54.7	18:10	12:05	21:39	6.3	
29	6:14	12:11:30	54.4	18:09	13:00	22:30	7.3	
30	6:14	12:11:10	54	18:07	13:51	23:27	8.3	上弦

* 佐世保市（東経129° 43'、北緯33° 10'）を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動（順行）していくように見えるが、時に東から西へ移動（逆行）することがある。その移動の方向が変わる瞬間を「留」という。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」となる。

※2 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」という。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなる。（最も大きく見える）内惑星（水星と金星）の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」がある。

※3 二十四節季の一つ 意味：しらつゆが草に宿る。

※4 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星（水星、金星）との角距離が最大となる瞬間である。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角（とうほうさいだりかく）、太陽の西側にあるときを西方最大離角（せいほうさいだりかく）という。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となる。

※5 二十四節季の一つ 意味：秋の彼岸の中日。太陽が真東から昇り、真西に沈む。昼夜の長さがほぼ等しくなる。